【別添－３】

ＩＣＴ活用工事（法面工）（法面成形工（土工量1,000ｍ3未満）を除く）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄※実施項目に☑ | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
|[ ]  ①３次元起工測量 |  |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量３．TS等光波方式を用いた起工測量４．TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量８．その他の３次元計測技術を用いた起工測量〔８．を選択した場合の技術名称： 〕 |
|[ ]  ②３次元設計データ作成 |  | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
|[ ]  ~~③ＩＣＴ建設機械による施工~~ | ~~法面工~~ |  | ~~１．3次元MCまたは3次元MG建設機械~~~~※ＭＣ：「マシンコントロール」の略称、ＭＧ：「マシンガイダンス」の略称~~~~※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図等による）については、受注後の協議により決定する。~~~~※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ＩＣＴ建設機械を活用すれば良い。~~ |
|[ ]  ④３次元出来形管理等の施工管理 |[ ]  出来形 |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理（経費補正適用）２．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用）３．TS等光波方式を用いた出来形管理４．TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く）（経費補正適用）８．上記１）、２）、７）に類似する３次元計測技術を用いた出来形管理（経費補正適用）　〔８．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　〕 |
|[ ]  ⑤３次元データの納品 |  |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（法面工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ全活用 | ＩＣＴ一部活用 |
| 1) ３次元起工測量 | ○ | － |
| 2) ３次元設計データ作成 | ○ | ○ |
| 3) ＩＣＴ建設機械による施工（該当なし） | － | － |
| 4) ３次元出来形管理等の施工管理 | ○ | ○ |
| 5) ３次元データの納品 | ○ | ○ |

【別添－３】

ＩＣＴ活用工事（法面工）（法面成形工（土工量1,000ｍ3未満））

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄※実施項目に☑ | 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
|[ ]  ①３次元起工測量 |  |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量３．TS等光波方式を用いた起工測量４．TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量８．その他の３次元計測技術を用いた起工測量〔８．を選択した場合の技術名称： 〕 |
|[ ]  ②３次元設計データ作成 |  | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
|[ ]  ③ＩＣＴ建設機械による施工 | 法面工 |  | １．3次元MCまたは3次元MG建設機械※ＭＣ：「マシンコントロール」の略称、ＭＧ：「マシンガイダンス」の略称※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図等による）については、受注後の協議により決定する。※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ＩＣＴ建設機械を活用すれば良い。 |
|[ ]  ④３次元出来形管理等の施工管理 |[ ]  出来形 |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理（経費補正適用）２．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用）３．TS等光波方式を用いた出来形管理４．TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた出来形管理６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（現場吹付法枠工は除く）（経費補正適用）８．上記１）、２）、７）に類似する３次元計測技術を用いた出来形管理（経費補正適用）　〔８．を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　〕 |
|[ ]  ⑤３次元データの納品 |  |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（法面工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）ＩＣＴ活用工事（法面工）は、下表のとおり。

|  |  |
| --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ全活用 |
|  |
| 1) ３次元起工測量※ | ○ |  |
| 2) ３次元設計データ作成 | ○ |  |
| 3) ＩＣＴ建設機械による施工 | ○ |  |
| 4) ３次元出来形管理等の施工管理（該当なし） | ○ |  |
| 5) ３次元データの納品 | ○ |  |
| ※法面整形工のみ（土工量1000m3 未満）は「選択」 |  |